

## 新規採用・削除医薬品等通知

## 新規採用医薬品通知

(薬品名)	アジレクト錠 1mg	劇	平成 30 年 6 月～平成 30 年 12 月
(英名)	Azilect tablets		
(規格・含有量)	1 錠中、ラサギリンとして 1 mg		
(一般名)	ラサギリン		
(メーカー名)	武田薬品工業株式会社		
【薬価収載日】	2018 年 5 月		
【薬価】	948.50 円		
【薬効コード】	871169		
【薬効分類名】	パーキンソン病治療剤(選択的 MAO-B 阻害剤)		
効能・効果	パーキンソン病		
用法・用量	通常、成人にはラサギリンとして 1mg を 1 日 1 回経口投与する。		
禁忌	(1)他の MAO 阻害薬(セレギリン塩酸塩)を投与中の患者 (2)ペチジン塩酸塩含有製剤、トラマドール塩酸塩又はタペンタドール塩酸塩を投与中の患者 (3)三環系抗うつ薬(アミトリプチリン塩酸塩、アモキサピン、イミプラミン塩酸塩、クロミプラミン塩酸塩、ドスレピン塩酸塩、トリミプラミンマレイン酸塩、ノルトリプチリン塩酸塩及びロフェプラミン塩酸塩)、四環系抗うつ薬(マプロチリン塩酸塩、ミアンセリン塩酸塩及びセチプチリンマレイン酸塩)、選択的セロトニン再取り込み阻害薬(フルボキサミンマレイン酸塩、パロキセチン塩酸塩水和物、塩酸セルトラリン及びエスシタロプラムシュウ酸塩)、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬(ミルナシبران塩酸塩、デュロキセチン塩酸塩及びベンラファキシン塩酸塩)、選択的ノルアドレナリン再取り込み阻害薬(アトモキセチン塩酸塩) 又はノルアドレナリン・セロトニン作動性抗うつ薬(ミルタザピン)を投与中の患者 (4)中等度以上の肝機能障害(Child-Pugh 分類 B 又は C)のある患者 (5)本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者		
相互作用	<b>本剤他剤作用増強</b> MAO 阻害薬(セレギリン塩酸塩、エフピー)、三環系抗うつ薬(アミトリプチリン塩酸塩、アモキサピン、イミプラミン塩酸塩、クロミプラミン塩酸塩、ドスレピン塩酸塩、トリミプラミンマレイン酸塩、ノルトリプチリン塩酸塩、ロフェプラミン塩酸塩)、四環系抗うつ薬(マプロチリン塩酸塩、ミアンセリン塩酸塩、セチプチリンマレイン酸塩) <b>本剤作用増強</b> ノルアドレナリン・セロトニン作動性抗うつ薬(ミルタザピン)、CYP1A2 阻害薬(シプロフロキサシン) <b>本剤作用減弱</b> CYP1A2 誘導薬タバコ(喫煙)、フェニトイン <b>その他</b> ペチジン塩酸塩含有製剤(ペチロルフアン)、トラマドール塩酸塩(トラマール)タペンタドール塩酸塩(タペンタ)、選択的セロトニン再取り込み阻害薬(フルボキサミンマレイン酸塩、パロキセチン塩酸塩水和物、塩酸セルトラリン、エスシタロプラムシュウ酸塩)、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬(ミルナシبران塩酸塩、デュロキセチン塩酸塩、ベンラファキシン塩酸塩)、選択的ノルアドレナリン再取り込み阻害薬(アトモキセチン塩酸塩)、トラゾドン塩酸塩、デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物、交感神経刺激薬(エフェドリン塩酸塩、メチルエフェドリン塩酸塩、ブソイドエフェドリン塩酸塩含有医薬品、フェニルプロパノールアミン塩酸塩含有医薬品)セイウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有飲食物、チラミンを多く含有する飲食物(チーズビール赤ワイン等)		
副作用	<b>重大な副作用</b> 起立性低血圧、傾眠、突発性睡眠、幻覚、衝動制御障害、セロトニン症候群、悪性症候群 <b>その他</b> ジスキネジア		

(薬品名)	アレサガテープ 4mg
(英名)	ALLESAGA TAPE
(規格・含有量)	本剤1枚中に日局エメダスチンフマル酸塩4mgを含有
(一般名)	エメダスチンフマル酸塩
(メーカー名)	久光製薬株式会社
【薬価収載日】	2018年4月
【薬価】	67.50円
【薬効コード】	874490
【薬効分類名】	経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤
効能・効果	アレルギー性鼻炎
用法・用量	通常、成人にはエメダスチンフマル酸塩として1回4mgを胸部、上腕部、背部又は腹部のいずれかに貼付し、24時間毎に貼り替える。なお、症状に応じて1回8mgに増量できる。
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
相互作用	<b>本剤作用増強</b> アルコール <b>本剤他剤作用増強</b> 向精神薬(鎮静剤、催眠剤等)、抗ヒスタミン剤
副作用	<b>重大な副作用</b> 記載なし <b>その他</b> 適用部位紅斑

### 後発医薬品採用通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
<p>●10月1日より</p> <p>ファモチジン OD錠「ファイザー」10mg/20mg</p> <p>ピオフェルミン錠剤</p>	<p>ガスター-D錠 10mg/20mg</p> <p>ラックビー錠</p>

### 医薬品名称変更通知

変更後	変更前
<p>●10月1日より</p> <p>イマチニブ錠 100mg「NK」</p> <p>フロセミド錠「武田テバ」20mg/40mg</p>	<p>イマチニブ錠 100mg「ヤクルト」</p> <p>フロセミド錠「テバ」20mg/40mg</p>

### 剤形変更通知

変更後	変更前
<p>●10月3日より</p> <p>プレセデックス静注液 200µg/50mL シリンジ「ファイザー」</p>	<p>プレセデックス静注液 200µg「ファイザー」</p>

### 削除医薬品通知

<p>●10月1日より</p> <p>セルテクトドライシロップ</p> <p>フランセチンTパウダー</p>	<p>10/1 削除</p> <p>在庫消尽後削除</p>
--	-------------------------------

## 適応追加通知

エルプラット点滴静注液 50mg エルプラット点滴静注液 100mg	<b>【効能・効果】</b> 治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 結腸癌における術後補助化学療法 治癒切除不能な膵癌 胃癌 <b>小腸癌</b> <b>【用法・用量】</b> 治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌及び結腸癌における術後補助化学療法にはA法又はB法を、治癒切除不能な膵癌 <b>及び小腸癌</b> にはA法を、胃癌にはB法を使用する。なお、患者の状態により適宜減量する。
5-FU 注 250mg 5-FU 注 1000mg	<b>【効能・効果】</b> 下記疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解 胃癌、肝癌、結腸・直腸癌、乳癌、膵癌、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌 ただし、下記の疾患については、他の抗悪性腫瘍剤又は放射線と併用することが必要である。 食道癌、肺癌、頭頸部腫瘍 以下の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法 頭頸部癌 レボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法 結腸・直腸癌、 <b>小腸癌</b> 、治癒切除不能な膵癌 <b>【用法・用量】</b> <b>小腸癌及び</b> 治癒切除不能な膵癌に対するレボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法 通常、成人にはレボホリナートとして1回200mg/m <sup>2</sup> (体表面積)を2時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして400mg/m <sup>2</sup> (体表面積)を静脈内注射、さらにフルオロウラシルとして2400mg/m <sup>2</sup> (体表面積)を46時間持続静注する。これを2週間ごとに繰り返す。なお、年齢、患者の状態などにより適宜減量する。
レボホリナート点滴静注用 25 mg「NP」 レボホリナート点滴静注用 100 mg「NP」	<b>*その他は略</b> <b>【効能・効果】</b> 1.レボホリナート・フルオロウラシル療法 胃癌(手術不能又は再発)及び結腸・直腸癌に対するフルオロウラシルの抗腫瘍効果の増強 2.レボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法 結腸・直腸癌、小腸癌 <b>及び</b> 治癒切除不能な膵癌に対するフルオロウラシルの抗腫瘍効果の増強 <b>【用法・用量】</b> <b>小腸癌及び</b> 治癒切除不能な膵癌に対するレボホリナート・フルオロウ

#### ラシル持続静注併用療法

通常、成人にはレボホリナートとして1回200mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を2時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして400mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を静脈内注射するとともに、フルオロウラシルとして2,400mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を46時間かけて持続静脈内注射する。これを2週間ごとに繰り返す。